

---

単元名【インターネットでの商品購入（カードの不正利用を中心として）】（基本・応用）

---

取扱い学年 小学校6年生～高校1年生程度

時 間 数 2時間程度

目 標

インターネットでカードを利用する上でのメリット・デメリットを知る。

インターネットの悪徳商法や悪徳業者の実態を知り、インターネットで上手に商品購入する方法を知る。

インターネットで自分のカードの番号が不正利用されないための対策について考える。

不正利用されて被害をうけた場合の対応について考える。

評 価 点

カードの利用についてメリット・デメリット確認できたか。

インターネットでカードを利用する上でのメリット・デメリットを把握できたか。

インターネットでの悪徳商法や悪徳業者の実態を知り、商品購入の上手な方法を知ることができたか。

カードを不正利用されないための対策について知ることができたか。

カードを不正利用されてしまった場合の対応を知ることができたか。

---

授業のポイントと展開

---

【導 入】

0．カードってどんなもの？

クレジットカード

キャッシュカード

そのほかカードのいろいろ。

1．教材ムービーによる事例紹介 カードの不正利用（基礎編）

2．ネットワークでクレジットカードを利用する場合のメリット・デメリットを確認しよう。

【メリット】（以下 中・高校レベルでの表現）

必要なものが、いつでも購入できる。

現金を用意したり、多額の現金を持ち歩かなくても良い。

貯蓄がなくても、急に商品やサービスが必要なときに役立つ。

月ごとの収入の枠に縛られずに、支出が平準化する。

支払いの猶予期間中に、資金の運用ができる。

クレジットカードの番号と名前（サイン）とカードの有効期限が明確であれば簡単に買い物ができる。インターネットでも同様である。

商品購入時に直接現金のやり取りをしないため安全性が高い。

カードを紛失しても、契約会社に連絡をとるだけで被害が防げる。

【デメリット】（以下 中・高校レベルでの表現）

欲望に負けて、不要不急な物を買やすい

現金払いでないので、支払いきれない買い物をしやすい。

（多重・多額債務）

信用を担保とするため、プライバシー侵害の恐れがある

カード犯罪による被害の恐れがある

（番号のコピー、盗難、ネットワーク場の盗用）

番号と名前と有効期限がわかれば、実際にカードを持っていなくても利用できてしまうので不正利用されやすい（ムービーのように、子どもでも不正利用できてしまう）。

悪徳業者に騙されて利用される危険性も高い。

インターネットで番号を入力するとき、その番号を盗まれてしまう可能性がある。

番号、名前、有効期限を、メールで送ったり、ホームページに掲載したりして、他人に、カードの情報が流されてしまう可能性もある。

【展開1】

3. インターネットでの悪徳商法、悪徳業者について知る。

悪徳商法・業者の多くは、「が当選しました」「プレゼント」「無料」など、一見お徳なものに見せかける場合が多い。

お得な情報にだまされることが多い。

（教材ムービー：雲隠れ）

（教材ムービー：賭博行為）

（教材ムービー：ねずみ講、マルチ（まがい）商法）

最初からだますことが目的で、お金だけとられて商品が届かないこともある。

「トロイの木馬」といって、はじめから番号を盗むことを目的に作られたホームページがあり、そこで得た番号を他の人に売ったり、迷惑をかけたたりする人もいる。

自分の気づかないところで、カードの番号など個人情報が盗まれたりする。

（クラッキング行為など）

自分の気づかないところで、カードの番号など個人情報が勝手に公開されていたりする場合もある。

【展開2】

4. カードの番号などが盗まれると、どういうことがおこるのか考える。

他人に勝手に使われてしまって、身に覚えのないお金を払わなければいけなくなる。  
賭博行為や誰か人を騙したり悪いことに自分のカードが利用されてしまう場合もある。

5. 上手に商品購入し、カードの番号が盗まれないようにする方法を検討しよう。

申込みページが暗号化されているかどうかを確認する。

悪徳業者かどうか見分ける。

しっかりとしたお店であることを確かめる。

しっかりとした取引相手であることを確かめる。

- ・わざとわかりにくい表現や曖昧に表示されている点がないか確かめる
- ・住所や連絡先など、きちんと明記してあることを確認する。

6. 教材ムービーによる事例紹介：カードの不正利用（応用編）

### 【展開3】

7. 万が一カードが不正利用されていることがわかったり、他人が知ってしまったら、どうすればよいか話し合ってみよう。

クレジットカードの紛失や不正に利用されていくことに気づいたら

カードの番号、氏名、紛失・盗難の事実を連絡する。

クレジット会社は、24時間受け付けていて、直ちにそのカードを無効にする。

この手続きをしておけば、他人に利用されても、代金は支払わなくてもいい。

### 【小・中生向け討論課題】

インターネットのホームページを見ていたら、偶然、他人のカードの番号（キャッシュカードでは暗証番号）や名前、有効期限を、知ってしまったら、どうすればよいか考えてみよう。

### 【中・高校生向け討論課題】

インターネットでの商品購入では、カード利用の際に、暗号化しておけば比較的安全とされるが、暗号化の他に、どういった点に気をつければ安全に商品が購入できるか、法律や技術などを調査し、話し合ってみよう。

### 【まとめ】

実習課題：仮想ネット商店街（教材使用）で買い物をしてみよう。

被害にあった場合、冷静な対応方法ができる。

銀行口座番号の流失に注意。

利用したい場合は、別口座を作る。

相手口座への振り込みにする。

商品の代金引換払いにする。  
クーリングオフについて知る。

©2001 IPA,CEC Eスクエア・プロジェクト「ネット社会の歩き方」